

2023年11月 高松市中央図書館報

Newsletter from Takamatsu central library



図書館ですてきな出会い人と本

発見! 高松の 銅像

番町編

「生駒親正公像」

高松工芸高校の近くにある番町二丁目公園。その中央寄りの場所に、初代讃岐領主である生駒親正（1526～1603）の像があります。親正は美濃国（現岐阜県）の生まれで、1587年（天正15年）に62歳で十七万石の讃岐に封じられます。

1600年（慶長5年）の関ヶ原の戦いで西軍の石田三成に味方し、その後高野山で出家しましたが、長男の一正が東軍についていたので免罪となります。許されてからは高松に戻って蟄居し、1603年（慶長8年）に亡くなりました。

親正が高松に城を築いたことが、今の高松市の基礎になったといわれています。お堀に海水を導入した水城である高松城は、水手御門から船を出してそのまま航海できるという、ウォーターフロントのさきがけでした。

像の作者は庵治町出身の三枝惣太郎（1911～2006）で、1996年（平成8年）3月に建立されています。（M）



番町二丁目公園から少し北へ行ったところにある弘憲寺の本堂裏に、親正夫妻の墓所があります。

周辺図



『香川県大百科事典』四国新聞社出版委員会 / 編 四国新聞社
1984年 T0310/カカ
『讃岐ものしり辞典』香川県図書館協会 / 編 1982年
T0491/サヌ
『続「香川県」雑学読本』阿津 秋良 / 著 丸山学芸図書
1995年 T2910/アツ-2
『香川人物名鑑2001』香川人物名鑑出版委員会 / 編
四国新聞社 2001年 T2810/カカ-1

中央図書館 11月の読書日のお知らせ 6日、13日、20日、27日、30日

■ 今月のおすすめ本

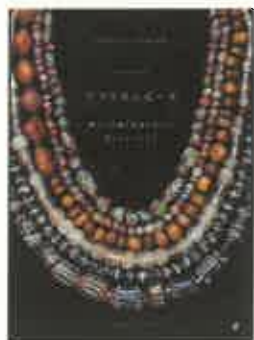
芸術の秋にちなみ、今月はさまざまな芸術の本を紹介します。



『表装ものがたり 書画を彩る名脇役を知る』

濱村 繭衣子 / 著 淡交社 2023年 / 発行 7249 / ハマ

表装とは、書画の保存・観賞を目的として裂や紙などを使用し、掛軸や巻物、屏風などに仕立てること、またはそのように表装した部分のことです。表装の有無によって、印象を大きく変える作品も多くあります。表装というこれまでとは異なる作品の見方を学び、日本美術の新たな魅力を感じてみませんか。



『アフリカンビーズ 古と今をつなぐとんぼ玉の世界』

トラオレ イッサ / 著 グラフィック社 2023年 / 発行 7515 / トラ

アフリカでは豊かな大地から何世紀にもわたって膨大な種類のビーズの原料を手に入れることができました。アフリカの社会ではビーズを使った装飾は社会的地位などを表現する言語のようなものであり、身近にある素材を加工してビーズにするほか、ヨーロッパなどとの交易によってガラスビーズなどを入手しています。この本で紹介されている様々なビーズを通じてアフリカの空気を感じてみてください。



『野村太一郎の狂言入門』

野村 太一郎・杉山 和也 / 著 勉誠社 2023 / 発行 7739 / ノム

日本で最も古いお芝居のひとつである狂言。能や歌舞伎との違いが分からない、狂言って難しいのでは、などと思う人も多いのではないのでしょうか。この本では、狂言に関する基本的な知識を網羅するとともに、初心者でも親しみやすい「柿山伏」「^{ぶす}附子」の台本に現代語訳と注釈をつけ、豆知識を交えながら解説しており、狂言をより身近に感じられる1冊となっています。



『江戸パンク! 国芳・芳年の幻想劇画』

春木 晶子 / 著 パイインターナショナル 2022年 / 発行 7218 / エト

黄金期を経て形骸化しつつあった主流の浮世絵とは一線を画し、荒々しいエネルギーを放出する作品を生み出していった江戸後期の浮世絵師たち。この本では全身を覆う刺青や奇抜なファッションを華麗に描くものから、おぞましさを痛ましさに目を覆いたくなるものまで、パンクの語がふさわしい浮世絵103図を集めています。

11・12月の展示

「意外とディープな!? 金属の世界、覗いてみませんか？」

期間：11月1日(水)～12月28日(木)

場所：2階 展示コーナー

皆さん、生活の中で使われている金属に興味を持ったことはありますか？1857年12月1日に、日本で鉄の近代的な生産が始められたことから、12月1日は鉄の記念日となっています。いまや私たちの生活に欠かせない存在となった鉄、それらをはじめとする金属の世界をちょっと覗いてみませんか？

行事予定

墨文字年賀状講座

【日 時】11月19日(日) 午前10時～正午

【場 所】サンクリスタル高松 3階 第一集会室

【講 師】穴田 豊久氏

【準備物】墨・硯・筆(筆ペンも可)・はがき、またはハガキ大の紙10枚程度

【定 員】先着15名

【申込方法】11月7日(火) 午前9時30分から、

電話(861-4501) または中央図書館のカウンターに直接お申し込みください。



特集

香川県内公共図書館連携企画

#つながる図書館

期間：10月27日(金)～11月9日(木)

場所：2階 中央カウンター横

県立図書館をはじめ、県内の公共図書館が同じテーマでそれぞれおすすめの本を選び、各館で展示をしています。

第3回となる今回のテーマは”おなかがすいた「おいしい本」”です。

秋の夜長に、本を読んでみませんか？





中央図書館 11月行事予定

・・・休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1 ●ゆりかご おはなし会 10:30~	2	3	4
5 ●子ども読書まつり 10:00~16:00	6	7	8	9	10	11 ●おはなしのかけはし 14:00~
12	13	14	15	16 ●わらべうたで あそぼう 10:30~	17	18 ●本さんこんにちは 14:00~
19 ●えほんくらぶの おはなし会 14:00~ ★墨文字年賀状講座 10:00~	20	21 ●えいごの おはなし会 11:00~	22	23	24	25 ●伝々虫のおはなし会 10:00~
26 ●かずこさんの おはなし会 14:00~	27	28 ●にこにこ おはなしひろば 11:00~	29	30		

音楽の小部屋



『メウ・ココ』 カエターノ・ヴェローゾ 25/ヘロ

2016年のリオデジャネイロオリンピック開会式で、盟友のジルベルト・ジルと共に圧巻のパフォーマンスを披露した、ブラジル音楽界の重鎮。それがカエターノ・ヴェローゾです。この作品は2021年にリリースされた現時点の最新アルバム。『メウ・ココ』というタイトルは、「僕の脳ミソ」という意味のようですが、その題名どおり全ての作詞作曲を自身で行っており、カエターノの胸の内を垣間見るようなアルバムになっています。

アルバム発表時点で79歳、現在は81歳のカエターノですが、年齢を感じさせない驚異的なヴォーカルを聴かせてくれます。ほどよく力の抜けた美しい響きと、気合すら感じる説得力溢れる声の表情は圧巻です。

ブラジル音楽が持つ多彩なリズムや複雑なコード感は、様々な要素を取り込み消化した多様性の現れです。そのサウンドの中をたゆたうカエターノの見事な歌声。ぜひ秋の夜長に楽しんで欲しい1枚です。(M)

※このコーナーでは、毎月一枚、音楽好きの図書館員より個人的おすすめCDを紹介していきます。

視聴覚だより 2階 AVコーナー

特集 『モフモフに癒されたい かわいいどうぶつ』

CD

『ねこのための音楽～ Music for Cats ～』 55 / ネコ

DVD

『きな子』 D21 / キナ

『ネコネコ動画』 D65 / ネコ

『アニマルベイビーズ』 D63 / アニ



＜ピックアップ作品＞

DVD 『雪国』 D21 / ユキ

「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」川端康成の小説『雪国』を原作では描写しきれなかった部分を加え、新たな視点でドラマ化した作品です。